島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(三軸粘性ダンパ)

No.	指摘日	資料の該当箇所							資料等への	
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答日	回答	反映箇所	備考
詳細設計 申送り事項 No.38	審査会合 (H31.4.9)	-	設置許可 まとめ資料 4条	機器・配管系への制震装置 の適用	4条-別紙 18	制震装置を適用した地震応答解析の実施に係る論点の審査では、制震装置 単軸粘性ダンパ、三軸粘性ダンパの構造、作動原理、適用対象(配管系の対象)、適用実績との条件の差異、制震装置と対象設備の地震時の構造成立性、適用による効果、試験結果、解析モデル化・解析手法の妥当性等の詳細を説明すること。	段階にて回答済 ②今回回答 ③後日回答	①制震装置(単軸粘性ダンパ、三軸粘性ダンパ)の構造、作動原理。適用対象(配管系の対象)、適用実績との条件の差異、適用による効果、試験結果、解析モデル化・解析手法の妥当性等の詳細については、設置許可段階にて回答しており、設工認図書にも記載しました。 ②三軸粘性ダンパ及び配管系の地震時の構造成立性について記載しました。 ③単軸粘性ダンパ及び取水槽ガントリクレーンの地震時の構造成立性については、別途説明します。	の適用」及びNS2-補-027-10-62「配管系に	主な説明事項 【1-6】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.39	審査会合 (R2.7.14)	-	設置許可 まとめ資料 4条	機器・配管系への制震装置 の適用	7-214 ~ 217	三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法について、非対角成分が存在するモード空間での運動方程式に対して時間積分を行う方法の詳細と手法の妥当性を詳細設計段階で説明すること。	今回回答	三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法について、非対角成分が存在するモード空間での運動方程式に対して時間積分を行う方法の詳細と手法の妥当性を記載しました。	NS2-補-027-10-62「配管系に設置する三軸 粘性ダンパの概要及び設計方針」 P.69	主な説明事項 【1-6】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.40	ヒアリング (R2.7.1)	-	設置許可 まとめ資料 4条	機器・配管系への制震装置 の適用		単軸粘性ダンパ及び三軸粘性ダンパの保守管理について、詳細設計段階で説明すること。		①三軸粘性ダンパの保守管理について記載しました。 ②単軸粘性ダンパの保守管理について別途説明します。	①NS2-補-027-10-62「配管系に設置する三軸粘性ダンパの概要及び設計方針」 P.19, 30, 31 ②後日回答	主な説明事項 【1-6】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.41	その他	-	設置許可 まとめ資料 4条	機器・配管系への制震装置 の適用		(まとめ資料での当社の記載) 三軸粘性ダンハを設置した配管系の耐震評価に ついては、弾性設計用地震動の6波を考慮して 実施し、その結果を説明する。	今回回答	弾性設計用地震動の6波に対する解析結果を記載しました。	NS2-補-027-10-29「主蒸気管の弾性設計用 地震動Sd での耐震評価について」	主な説明事項 【1-6】 (分類【B】)